

8-4-20 照査特別WG

1. 主な活動の記録

本WGの主たる活動である「技術委員会/品質セミナー」は平成12年度から継続的に開催している重要な協会活動であり、今年度で17回目を数える。

品質セミナーは「エラー事例を把握することで同様な・類似したエラーの発生を防ぐ」、及び「エラーに対する分析や改善策を把握することで、品質の維持・向上への具体策やヒントを知る」ことを目的に、管理・照査技術者、若手技術者などの実務者層を対象に今年度も実施した。

平成28年度のセミナーのプログラムは、新たに港湾分野を追加し、従来からの道路、橋梁、土質・地質、河川、砂防・急傾斜と合わせて6分野とし、午前と午後に分けてCPDを取得する教育分野の内容との整合を図った。

(1) 照査特別WGの構成

平成28年度も技術委員会の道路、道路構造物、河川構造物、土質・地質、ダム・発電、砂防・急傾斜、鉄道、港湾の8つの専門委員会委員によりWGを組織し、10、11月のセミナー開催に向けてWG活動を推進した。

(2) 照査特別WGの開催

WG開催：6回（4～8月及び12月）

セミナー講師全体会議：1回（9月）

(3) 品質セミナー資料の作成と更新

エラー事例はこれまで本部専門委員会の参画会社から収集を行っていたが、地域特性によって生じるものも含めより多くのまた多様な事

表. 平成28年度品質セミナープログラム

①趣旨説明	5分	
②セミナー概要説明	10分	
③エラーの技術的分析と改善策	(1)道路/トンネル	60分
	(2)橋梁	60分
	(3)土質・地質	60分
	(4)港湾	30分
	(5)河川構造物	60分
	(6)砂防・急傾斜	60分
④全体質疑応答・講話	20分	

例を集めて一層の充実を図るために、初めて各支部に収集活動を展開して実施した。

この結果、昨年度の約2倍の新規エラー事例（193事例）を追加収集・整理し、エラーの技術的分析と対応策を盛り込んだ平成28年度版のセミナーテキスト『成果品に関するエラー事例集』（1353事例、全2563ページ、CD配布）ならびにこれに基づくプレゼンテーション資料を作成し、事前に会員HPへの掲載も行った。

また、エラー事例を反映した各分野の照査チェックシートを取りまとめ、配布CDに収録した。

(4) 品質セミナーの開催

これら準備のもと、全国9支部の協力を得て、「技術委員会/品質セミナー～エラー防止のために～」を10、11月に全国9箇所で開催した。

参加者数（全体）は台風災害対応と重なった支部では大きく減少したが、過去最多であった昨年度と同程度の参加（1303名）があり、このテーマの協会員や発注者の関心の高さが伺え、またセミナーアンケート結果を見ると、その内容についても総じて高い評価を得ている。

2. 次年度の活動について

アンケートで大多数の方が継続を希望されていることから、平成29年度も引き続き品質セミナーを開催する方向である。その内容の企画については、平成28年度の参加者アンケート等を踏まえて、更に満足度が向上するよう照査特別WG、技術委員会等で検討する。なおエラー事例収集の支部展開については今後も継続する予定である。

（照査特別WG WG長 藤木 明）

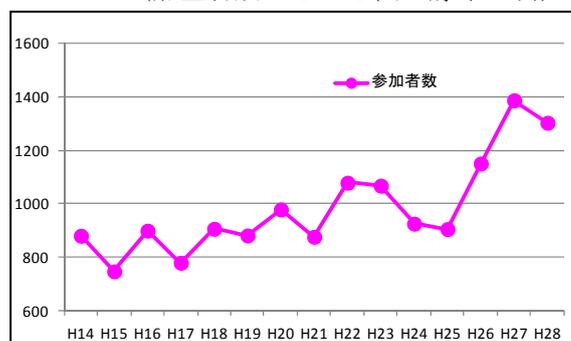


図. 参加者数の経年変化